



# 学校だより

令和8年7月号

学校HP

学校教育目標『笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子』

横浜市立茅ヶ崎東小学校



## 「国際平和のために、自分にできること」

校長 高橋 哲雄

6月25日、本校を会場として都筑区小学校国際平和スピーチコンテストが開催されました。各学校の代表の児童が「国際平和のために、自分にできること」をテーマにスピーチをしました。どの子も自分の思いをしっかりと伝えることができていました。本校でも6年生の子どもたちが取り組みました。「持続可能な開発目標 (SDGs)」の17の視点をもとに、自分にできることについて考え、思いをまとめていました。一人一人が真剣に向き合い、前向きに取り組む姿がとても頼もしく感じられました。

本校の代表としてスピーチコンテストに参加した児童のスピーチの内容をご紹介します。



### 「世界平和」を「みんな」で

茅ヶ崎東小学校 代表児童

「外国から来た子と仲良くできるのかな。」

クラス名簿を見た時、こう思ってしまいました。私は、文化が全然違うのでどういう風に接していいのかわからないなと思い不安でした。そして、席が近かったにも関わらず、その子に話しかけることができませんでした。話そうともしませんでした。しかも、冷たい態度をとってしまいました。私は、少し経ってから自分がそのようなことをしてしまったことに気づき、反省しました。なぜなら、その子を傷つけてしまったからです。最初は小さいいざこざかもしれないけれど、どんどん発展して、国と国の紛争や戦争につながってしまうかもしれません。実際に、世界で差別が起こったことをニュースで見ました。それは、アメリカで白人の警察官に黒人が殺害されてしまったというものでした。黒人の人が暴行されたとのことでした。世界では、このようにまだ差別が残り、時には生死に関わることもあるということを知りました。

みなさんは、差別が起こらないようにするためにはどうしたらいいと思いますか？私は、まず自分から苦手な子や話したことの無い子などに積極的に話しかけ、その子のことを知ることが、差別をなくすことにつながると思います。また、人種、国籍、文化の違いや、性別、年齢に関係なく、仲良くできるようにしようと心がけると、その子の意外な面に気づいたり、仲よくなれたりすると思います。

一方で、そんなことをしたところで、差別なんて解決できないだろう、仲良くなるなんて無理だろうという人がいるかもしれません。ですが、私は冒頭で話した外国から来た子に、自分から話しかけ、その子のことを知ったことで楽しく話せるようになりました。そして仲良くなりました。今では、明るくあいさつができ、授業中に自分の考えを伝え合うこともできます。初めは「文化が違うから仲良くなれない」と勝手な思い込みをしてしまいましたが、自分から声をかけ話してみたことで、文化の違いなど、仲良くなるためには関係ないことに気がついたのです。

世界では、残念ながらいまだに差別をされているところがあります。その差別が、国と国との紛争や戦争につながっていると思います。その差別をなくす第一歩として、私は人種、国籍、性別、年齢関係なくみんなで仲良くしていくことが大切だと思います。あまり話したことの無い人や、苦手な人に自分から積極的に話しかけ、その人のことを知り、自分のことを相手に知ってもらいます。お互いにどういう人なのかを知ることが大切だと今回の経験からわかりました。

「瞳の色や言葉、国籍がちがっても仲良くなれる。」